

# 桐生繊維業界の実態

平成13年1月～12月

桐生市繊維振興協会

# 桐生市繊維業界の概況

平成13年12月末現在

1.	調査対象団体数	15団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2.	産地収入	
	（1）生産高	254億2,508万円
	（2）加工収入高	26億9,564万円
	（3）販売高	91億1,928万円
	計	372億4,000万円
	※退会組合の収入（前年対比94%）	44億4,724万円
	計	416億8,724万円（前年対比（%）94）
3.	組合員数（事業所）	471事業所
4.	総従業員数（家族従業員含む）	3,251人
5.	一事業所当り従業員数	6.9人
6.	一事業所当り生産販売加工高	7,907万円
7.	年度別産地収入高	
	昭和54年産地収入	1,078億1,166万円
	" 55年	1,170億6,380万円（前年対比（%）109）
	" 56年	1,110億8,757万円（前年対比（%）95）
	" 57年	1,083億3,093万円（前年対比（%）98）
	" 58年	1,023億 634万円（前年対比（%）94）
	" 59年	976億1,960万円（前年対比（%）95）
	" 60年	917億1,760万円（前年対比（%）94）
	" 61年	853億4,182万円（前年対比（%）93）
	" 62年	804億5,848万円（前年対比（%）94）
	" 63年	783億8,548万円（前年対比（%）97）
	平成元年	841億7,076万円（前年対比（%）107）
	" 2年	931億1,687万円（前年対比（%）111）
	" 3年	908億7,740万円（前年対比（%）98）
	" 4年	1,001億1,232万円（前年対比（%）110）
	" 5年	893億2,611万円（前年対比（%）89）
	" 6年	845億3,438万円（前年対比（%）95）
	" 7年	733億6,672万円（前年対比（%）87）
	" 8年	678億3,478万円（前年対比（%）92）
	" 9年	616億9,017万円（前年対比（%）91）
	" 10年	528億4,669万円（前年対比（%）86）
	" 11年	473億6,503万円（前年対比（%）90）
	" 12年	444億7,222万円（前年対比（%）94）

※ 本調査は、桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。

なお、団体の加盟及び脱会により調査の対象が変わるため、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組合員数 事業所	従 業 員 数				計	従 業 員 平均年齢
			従 業 員		家 族 従 業 員			
			男 性	女 性	男 性	女 性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	115	205 <sup>人</sup>	202 <sup>人</sup>	105 <sup>人</sup>	281 <sup>人</sup>	793 <sup>人</sup>	54 <sup>歳</sup>
	内地協議会	92	285	459	96	103	943	57
桐生織物産地元売組合		6	9	5	5	5	24	46
桐生染色協同組合		24	178	26	12	9	225	50
桐生繊維製品協同組合		38	127	288	13	18	446	42
桐生糸商組合		16	30	16	16	10	72	48
東日本編レース工業組合		15	25	16	23	17	81	45
桐生意匠協同組合		16	5	5	5	7	22	47
桐生紋紙協同組合		14	17	2	16	16	51	53
東毛ジャカード刺繍協同組合		10	15	23	11	18	67	43
桐生刺繍商工業協同組合		45	86	140	80	75	381	54
桐生織物買継商友会		18	6	3	18	15	42	56
シルク・ルネッサンス桐生		( 5					0	)
桐生テキスタイル商業グループ		8	27	18			45	42
桐生織伝統工芸士会		( 42					0	)
桐生和服裁縫組合		54		55	1	3	59	
計		471	1,015	1,258	401	577	3,251	

- 注 (1) 平成 7年 1月 13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。  
(2) 平成 7年 5月 17日 桐生織伝統工芸士会 入会。  
(3) 平成10年 3月 31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。  
平成10年 3月 31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。  
平成10年 3月 31日 桐生織物商業組合 解散し退会。  
(4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。  
(5) 平成11年 3月 31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。  
(6) 平成12年 3月 31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。  
(7) 平成13年 3月 31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。

※ シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので計算に含めておりません。

## 2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所 属 団 体	生 産 高 (万円)	加 工 高 (万円)	計 (万円)	前 対 年 比 (%)	取引先区分 (%)		
					県 内	県 外	
桐生織物協同組合	広幅協議会	627,446	58,308	685,754	97	0	100
	内地協議会	467,977		467,977	97	0	100
桐 生 染 色 協 同 組 合			120,017	120,017	94	55	45
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合		858,089	34,766	892,855	90	0	100
桐 生 刺 繍 商 工 業 協 同 組 合		43,400	46,673	90,073	65	98	2
東 日 本 編 レ ー ス 工 業 組 合		180,000		180,000	90	62	38
桐 生 意 匠 協 同 組 合		14,622		14,622	99	78	22
桐 生 紋 紙 協 同 組 合		18,759		18,759	97	87	13
東 毛 ジャ カ ー ド 刺 繍 協 同 組 合		52,215		52,215	97	0	100
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ		280,000		280,000	122	100	0
桐 生 和 服 裁 縫 組 合			9,800	9,800	96	91	9
計		2,542,508	269,564	2,812,072	95	21	79

## 3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所 属 団 体	販 売 高 (万円)	前 年 対 比 (%)	取 引 先 区 分		
			桐 生 市 内	県 内	県 外
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	102,900	72	3	5	92
桐 生 糸 商 組 合	750,000	95	62	8	30
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	59,028	85	0	0	100
計	911,928	91	51	7	42

#### 4. 内需向、輸出向区分

所属団体	内 需 向		輸 出 向		計 (万円)
	金 額 (万円)	割合 (%)	金 額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合 広幅協議会	612,854	89	72,900	11	685,754
桐 生 染 色 協 同 組 合	116,667	97	3,350	3	120,017
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合	892,855	100	0	0	892,855
桐 生 意 匠 協 同 組 合	14,489	99	133	1	14,622
桐 生 紋 紙 協 同 組 合	18,196	97	563	3	18,759
東毛ジャカード刺繍協同組合	52,215	100	0	0	52,215
桐生刺繍商工業協同組合	90,073	100	0	0	90,073
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	59,028	100	0	0	59,028
計	1,856,377	96	76,946	4	1,933,323

#### 5. 各団体の取扱品目

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
桐 生 織 物 協 同 組 合 ( 広 幅 協 議 会 )	服 地	インテリア・ 資 材	ネクタイ	そ の 他	
	56	30	8	6	
桐 生 織 物 協 同 組 合 ( 内 地 協 議 会 )	帯 地	広 幅 生 地	服飾工芸品	着 尺	
	71	12	10	7	
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	帯 地	二 次 製 品	着 尺	服飾工芸	そ の 他
	70	10	5	6	9
桐 生 染 色 協 同 組 合	合 織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ウール等	絹	
	55	32	6	7	
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合	ブラウス	ニ ッ ト	ス ー ツ	ジャケット	そ の 他
	69	13	5	3	10
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	レ ー ヨ ン	綿・スフ	絹・その他	
	60	25	9	6	

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	78	14	8		
桐生意匠協同組合	金 欄	インテリア	洋 反	帯	そ の 他 (輸出含)
	34	30	18	9	9
桐生紋紙協同組合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
	100				
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	トレーナー	ワンポイント 刺 繍	そ の 他
	37	29	3	12	19
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス ニット加工	ハンカチーフ 加 工	雑 貨
	35	16	22	14	13
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	そ の 他	
	83	11	2	4	
桐生テキスタイル商業グループ	服 地				
	100				
桐生和服裁縫組合	きもの全般	帯	長 襦 袢	コート・羽織	そ の 他
	48	27	23	1	1

## 6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(協) (内地協議会)	広幅織機	102	東毛ジャカード 刺繍(協)	コンピュータミシン	54
	並幅織機	959		プレス	14
	小幅織機	169		本縫いミシン及びその他の機械	38
	自動・レピア織機	218		プリント用製版	4
	計	1,448		計	110
桐生織物(協) (広幅協議会)	普通織機	1,063	桐生意匠(協)	デザインシステム	32
	自動織機(片レピア含)	250		拡大機	6
	超自動(レピア)	421		コピー機	14
	計	1,734		計	52
桐生染色(協)	常圧噴射式染色機	104	桐生紋紙(協)	デザインシステム	29
	高圧噴射式染色機	34		カードパンチ	17
	汎用染色機	42		横彫カットエンドレス	20
	チーズ及びケーキ染色機	61		ワンパンチ	15
	計	241		計	81
桐生繊維製品(協)	縫製ミシン	520	桐生刺繍商工業(協)	横振りミシン	120
	プレス	28		多頭式刺繍機	470
	裁断機	28		計	590
	計	576			
東日本編レース(工)	ジャカード落下板付きラッセル機	28			
	ジャカード落下板付きコンピュータ機	7			
	チェーンラッセル機	50			
	チェーンラッセルコンピュータ機	8			
	計	93			

7. 最近の推移（13年10月～13年2月）

品 目 団 体 名		受 注 ・ 引 合 の 状 況				販 売 （ 加 工 ） 単 価 の 状 況			
		増	変らず	下降	前年対比(%)	上昇	変らず	下降	前年対比(%)
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	97		○		100
	内地協議会			○	97		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100			○	90
桐生染色協同組合				○	95		○		100
桐生繊維製品協同組合				○	90			○	90
桐生糸商組合				○	92			○	95
東日本編レース工業組合				○	90			○	90
桐生意匠協同組合				○	93		○		100
桐生紋紙協同組合				○	97		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	97			○	95
桐生刺繍商工業協同組合				○	70			○	70
桐生織物買継商友会				○	85			○	85
桐生テキスタイル商業グループ			○		100		○		100
桐生和服裁縫組合				○	96			○	95
計			2	12			6	8	



## 8. 平成13年（1月～12月）の状況、事業概要及び今後の課題

### 桐生織物協同組合

#### 商品、消費者のニーズの変化について

ニーズの変化というよりも、景気低迷による買い控えが大きい。

和装人口も減ってきているが、フォーマルな重厚なものよりも、カジュアルな半幅帯等の軽い感覚の物が好まれている。時代もそうなっている。

ブランド品か廉価品かどちらかで、中間的な物が動かなくなっている。

#### 状況、事業概要

国内外の景気の低迷による需要の減少、買い控えのため、洋・和装問わず業況は低迷、特に輸出部門は極端に減少した。

主力の内需服地も受注状況に波があり、またヒット製品もなく、良くはなかったが何とか前年並みを確保（金額ベース）できた。

輸出関連は主力の輸出先がまったくふるわず、メーカーも内需にシフトの傾向が強くなり大きく減少した。

和装関連でも景気低迷による信用不安、需要減退、買い控えが影響して低調に推移した。フォーマル物が相変わらず低迷し、カジュアル物もその割に延びず低調に推移した。

### 桐生織物産地元売組合

#### 商品、消費者のニーズの変化について

夏用の浴衣の需要は相変わらず好調であるが、若年層が中心であるため、低価格指向が強く、海外生産物に押されている。呉服については不況のため高額商品の売れがにぶい。

#### 状況、事業概要

平成10年以降、集産地（京都・東京）の大型倒産が相次いでいたが、13年度は小売業の倒産も多くなった。当組合員への被害は少なかったが売上高は年々減少している。

#### 今後の課題

呉服の取引きにおいて、需要の停滞により委託仕入、支払いの遅延等が年々増えてきている。そのしわ寄せが商社、問屋、産地に来ている。取引き条件の抜本的な改善が急務である。

### 桐生染色協同組合

#### 商品、消費者のニーズの変化について

平成13年中のサラリーマン消費支出は、前年比0.8%減少している。その中で被服履物への支出は3.7%減と大きい。高級ブランド品の売上げはバブル期なみに販売されている。

また一時程の力はないが大衆品も若者向けに購買力は高い。二極化の中で国産品は苦戦している。

#### 状況、事業概要

服地用生地糸・和装用糸ともに期節により若干の増減はあるものの全繊維にわたり金額、加工数量ともに減少した。

### 今後の課題

次期技術者の確保、大量に使用する水、エネルギーの合理的利用方法、それらの環境に与える影響をより一層減少させるための技術の確立等問題は多い。

### 桐生繊維製品協同組合

#### 商品、消費者のニーズの変化について

前年同様にデパート、専門店等、客不足により売上も減少で新しい傾向の商品については少々売れる程度である。

なお、平均単価が低い方向に変動している。

#### 状況、事業概要

受注も減り、工賃もなお下回ったと思う。業界を取り巻く環境は甚だ厳しいものがある。

### 今後の課題

我々は製造直売を指向して進むが、現在のアパレル業界が全力で売ろうとしても売れず消費者の低価格商品と高級ブランド商品に対応する厳しい販売を強いられている。

努力がむくわれない現状は如何ともしがたい。

### 東日本編レース工業組合

#### 商品、消費者のニーズの変化について

消費者の買い控えが顕著化するのとは当然という声も聞かれるが、しかし市場では今度の場合、消費者の買い控えというよりむしろ消費者の選別の目が厳しくなってきたことを指摘する向きも多い。消費者ニーズを的確に捉えた物作りの企画・開発を進めないとその変化の厳しい激動期を生き延びることは不可能であると思います。

#### 状況、事業概要

仕事量は平成12年度より全体では20～30%ダウンであった。その上価格破壊で利益は殆ど残らない状況であった。今後の状況によって賃金の引き下げを視野に入れて考えていく方向であると思われる。

### 今後の課題

業界全体が低迷している中を一步抜け出して羽ばたいていくには、並大抵の努力では不可能だと考える。競争に打ち勝つためには、個々の力を結集することが必要である。自分の強みに磨きをかけてこの難局を乗り切っていくことが必要である。市場の変化に積極的に挑戦し、今の変化をしっかりと読み取り、消費市場の情報を集め企業自体が絶えず挑戦し、世界に通用する魅力ある創造を提案できる企業体にする必要がある。

また、価値あるものを追究し創造して、企業にとって永遠のテーマである研究心を忘れずあらゆる面においてそれぞれの企業にしか出来ないオンリーワンを創出することが、何よりも重要であることが考えられる。

## 桐生意匠協同組合

### 状況、事業概要

景気低迷の中、組合員の個々の話では仕事量が激減している話ばかりで1年が過ぎ去った気がいたしますが、しかし、実態調査で数字を出してみると-7%しか落ち込んでいないところを見ると、悪い中でも織りメーカーが積極的に柄作りを展開して少しでもという努力が伺われます。品目的には婦人服地が落ち込み、代わりにインテリアが少し増加をしています。

又、16社中の2社が回答ゼロの状態です。

これも仕事量減少で内一社は、高齢化で廃業しています。

### 今後の課題

我々組合も平成13年8月31日に協同組合を解散して4月1日～任意組合で桐生意匠組合として発足の予定です。

これも時代の流れと皆の総意で決めた事ですが、桐生織物発展とこの機業地を担う意匠業として結束の意志は皆同じで頑張る所存でございます。

又、桐織協との関連にて情報活動を密にして、織メーカーとの関連で仕事としては受動なので不安はありますが、桐生市繊維振興協会の一員としてこれからも桐生に意匠組合ありと誇れる組合作りに努力して行きたいと思っています。

## 桐生刺繍商工業協同組合

### 商品、消費者のニーズの変化について

低価格の安値追従と量よりも質を重んじる2通りに別れてきている。オリジナル技術が出来る、何でも対応できる刺繍店、インターネットの顧客など。

### 状況、事業概要

メーカーの海外生産が加速し完全に国内生産の空洞化現象がはっきりと明確に現れ、国内においては特種刺繍小ロット化が当然のようになった。

### 今後の課題

新しい事業、ビジョン、方向性を持ち、企画提案型取引への転換、新しい技術の開発、異業種交流、アパレル以外の刺繍需要の喚起。

地域に密着した特殊用途の開拓、グループ化の提携、インターネットの対応、情報化の推進等出来る限り取り組んでいきたい。

新規にて(株)ファーストリテイリング社との取引の始動。これを基盤に少しでも受注が多く桐生の刺繍業界の発展につなぐことが出来れば大きな成果を生むことになり得るだろう。

## 桐生織物買継商友会

### 商品、消費者のニーズの変化について

商品の多角化、多品種化、消費は社会的低価格の要求の中、一方では個人個人の個性化志向も進んでいる。

## 状況、事業概要

需要の多角化、不況に依る環境の中、販売先の連鎖による倒産等見通しのきかない状況が続いている。

## 今後の課題

各社特徴ある個性的な商品の開発が必要と思うが、いろいろクリアすべき問題も多い。

## 桐生テキスタイル商業グループ

### 商品、消費者のニーズの変化について

一段と下降する景気動向の中で、流通各段階に酷しさが増している。特にテロ事件以来の環境悪と年明けての暖冬は秋冬物の消費動向にブレーキとなっている。

### 今後の課題

- 1) 毎年課題となっているものは品質管理と検査機能の充実による商品クレームの防止。
- 2) 目まぐるしく変化するファッションニーズの中から産地の得意とする商品企画の特化が必要。
- 3) 整理加工水準の向上。

## 桐生和服裁縫組合

### 商品、消費者のニーズの変化について

消費の低迷に加えて、海外縫製やミシン縫製へと仕事が流れ、より一層2極分化が進んでいる様である。

### 状況、事業概要

ここ2～3年の状況と特に大きな変化は無く、じり貧の中で仕事のやりくりが続いているのが現実である。

### 今後の課題

海外縫製の影響を考えると、和裁業界を取り巻く環境は大変厳しくコストでの競争がダメであれば、これに勝るには技術を高め、その技術をアピールする事を各自が考える必要が大切と考えます。

幸いな事に、平成14年4月より中学校の家庭科授業で和装教育が取り入れられる事が出来る様になりました。

織物産地「桐生」から積極的にバックアップして、この授業が広まってゆく事を願っております。

# 桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

(平成14年4月1日現在)

団 体 名	代表者名	所 在 地	電 話
桐生織物協同組合	柿沼洋一	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生商工会議所繊維部会	塚本祐平	" 錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生染色協同組合	塚本祐平	" 永楽町6-6	0277-22-9661
桐生繊維製品協同組合	中里宗作	" "	0277-46-2310
桐生織物産地元売組合	木村俊一	" 相生町2-230-1	0277-53-5131
桐生糸商組合	川村治朗	" 仲町3-15-6 川村(株)内	0277-44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	栗原光好	" 永楽町6-6	0277-22-7919
東日本編レース工業組合	中野隆雄	" "	0277-22-3847
桐生意匠組合	大澤純一	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生紋紙組合	岩崎万雄	足利市山川町538-1 (有)岩崎紋工社内	0284-41-5764
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村千春	桐生市新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎英三	" 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木軍次	" 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木島清	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	新井實	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	萱森一広	" 旭町201	0277-44-9049

事務局 財団法人 桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2番5号

TEL (0277) 46-1011 (代表)

FAX (0277) 46-1014